



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hovukai.org/>

第133号

発行:2017年5月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会



いい病院とは

湘南泉病院 事務部長 松田 隆

本年4月1日付にて、湘南泉病院事務部長を拝命致しました松田と申します。前職は、新中川病院にて8年間事務部長をさせて頂いておりました。今回内示を頂いてから重責は、覚悟の上でしたが現実には想定をはるかに上回る業務量と質に日々格闘しております。20余年間、前任者池島常務理事が築いてこられた病院事務部長の座を汚さぬよう50歳を半ばに新入社員のごとく必死にがんばっております。

さて最近世間では、「全国〇〇な病院ベスト100」などの本やネット上は医療ブームとなっておりますが、このニュースレターを読んで頂いている皆様方にとっていい病院とは如何なものでしょうか？患者様に伺うと「大きな大学病院」「自宅から近い病院」同じ患者様でも慢性期になると「生まれ故郷の病院」「海の見える病院」など、高度医療から療養環境の重視される方も増えます。人それぞれですね。では、私の考えるいい病院の定義としては、

『いい病院とは、そこに勤める職員が、自分の親、兄弟、親族が病気になった時、うちの病院に行ってみればと勧められる病院』ではないかと考えております。このような考えに至った経緯は学生時代に某有名スーパーマーケットの精肉売場で半年ほどアルバイトをさせて頂いたことがありました。その店は不思議な事に社員割引があるにもかかわらず絶対社員はその店で買い物をしませんでした。しかし疑問はほどなく解けました。答えはこの

店ではステーキ肉の当日売れ残りが照明で黒くなった部分をけずりスライス肉として翌日再販売→その売れ残りをミンチにして翌々日販売→それでも売れない肉は4日後豚肉の赤身を混ぜ合い挽き→5日後に惣菜コーナーで肉入りコロッケにする→油は真っ黒→そしてそれでも売れ残ったものはやっとなり破棄、内部事情を知っている社員は、当然ながら絶対に食べない。ましてやお金を払って自分の子供や家族になど・・・しかしその店も最近では、休憩中という名札を付けた主婦らしき社員が一般の買い物客に混じって自分の作った惣菜を買っているのをよくみかけるようになりました。時代の流れできっと業務改善をしたのでしょう。コンプライアンスも厳しくなりました。時代の流れを受け止めルールを守っていなければとっくに潰れていたことなのでしょう。この店のように職員から愛される職場にするには、一朝一夕で出来るものではありません。私は、長年前任者が努力されてきたことは、ずっと見てきました。現状を維持させるだけでも大変なことです。より発展させるにはどうしたらいいのか、伝統は守りつつ新しい風を吹かす。またどうすれば自分の考えるいい病院により近づけることができるのか？

医療法人社団鵬友会も本年4月にグループ施設が増え従業員も1,000人を超えました。答えを立ち止まって考える時間はありません。関係各部署のご意見・ご指導を頂きながら、これからも中年の新入社員は走りながら考え、そして答えに近づきたいと思っております。

看護フェスティバル 2017

5月12日は近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで制定された『看護の日』です。その前後一週間は、毎年、全国各地で様々なイベントが行われます。鵬友会でも湘南泉病院・横浜ほうゆう病院は、病院内で、新中川病院は南万騎が原駅前広場にて、血圧・体脂肪測定や健康相談など様々な催しを行い、地域の方々と交流を持ちました。

【湘南泉病院】5/12（金）



健康測定



健康測定



体力（バランス）測定

【新中川病院】5/12（金）



栄養・お薬相談



健康測定

【横浜ほうゆう病院】5/13（土）



健康測定



栄養相談



会場内

◆◆◆ 医療・福祉講座 開催のお知らせ ◆◆◆

【テーマ】 フットケア外来について

「足のむくみ・うおのめ・まき爪・神経障害・血管の病気・壊死糖尿病性足病変等・冷え、その他足に関して困っていることなど」

【日時】 平成29年 8月 4日（金） 18：00～19：00

【場所】 湘南泉病院 4階リハビリテーション室 【無料】

【対象者】 泉・瀬谷・旭区・その他近隣の介護施設で働いている方

【お申込み】 鵬友会本部 上村 ☎ 045-810-0331